# 関城西小だより「しぐなる」

「せきじょうにししょう」発「しあわせみらい」行き

２０２１年度
第１１号
２月１５日発行

## 西小っ子の健やかな成長を守るために

新型コロナウイルスの猛威が私たちの日常を乱しています。しかし、西小では、保護者の皆様をはじめ、地域の方々の多大なご理解とご支援・ご協力をいただき、子供たちは、健やかに成長してくれています。対応等で不備な点等も多々あるとは思いますが、今後も宜しくお願いいたします。

## コロナに負けない西小での生活

予測困難な新型コロナウイルス感染症の拡大。不安の日々が続きます。西小では、少しでも安心して学校生活が送れるように、本校の実態に応じた対策等に全力で取り組んでいます。

オンラインによる朝の会

感染対策での体育の授業

タブレットを活用した授業

休み時間の様子

工夫された英語の授業

放課後の学習相談

職員による毎日の消毒作業

職員による毎日の清掃作業

PTA 会長・副会長さんとの懇談

## お知らせとお願い

○　新型コロナウイルスの感染拡大が続いております。ご家庭におきましても、基本的な感染対策の徹底をお願いいたします。また、ＰＣＲ検査等を受検される場合及びその結果につきましては、これまで同様に学校までお知らせください。

○　休校中も毎朝の検温及び健康シートご記入へのご協力をお願いいたします。

○　休校中はリモート学習参加へのご協力ありがとうございます。尚、風邪症状等の体調不良が見られた場合は、無理に参加せず、療養してください。（学校まで連絡をお願いします。）

月　日　曜日　日直

## 令和３年度　保護者学校評価（後期）の集計結果

**学校評価へのご協力ありがとうございました。以下の結果をもとに、さらに笑顔あふれる魅力ある学校づくりに努めて参ります。今後とも皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。**

| | アンケート内容 | 保護者回答（%）　＊【　】内は、児童の回答 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | あてはまる | まあまああてはまる | あまりあてはまらない | あてはまらない |
| 1 | お子さんは、自分から家庭学習（宿題／自主学習）に取り組んでいる。 | 28．2<br>【54．7】 | 48．9<br>【32．9】 | 19．0<br>【10．3】 | 3．9<br>【2．2】 |
| | 肯定的な捉えが７７．１%と前回の８０．９%からマイナスとなった。反面、児童は８７．６%と前回の８６．０%からプラスとなり共に高い数値であった、保護者と児童との捉え方に差が見られる。「よく頑張った」状態（評価の観点）を親子で共有する必要があると考えられる。 | | | | |
| 2 | お子さんは、自分から読書をしている。 | 11．5<br>【55．0】 | 24．7<br>【29．7】 | 48．9<br>【11．5】 | 14．9<br>【3．9】 |
| | 肯定的な捉えが３６．２%と前回の４５．８%から大きくマイナスとなった。児童は８４．７%と前回の８６%からわずかなマイナスであった。保護者と児童の認識に４８．５ポイントと大きな開きがある。学校での読書活動の様子を知らせる工夫を図ると共に、ご家庭での読書活動の充実を図っていきたい。 | | | | |
| 3 | お子さんは、自分からあいさつをしている。 | 31．0<br>【64．7】 | 43．1<br>【29．8】 | 23．6<br>【5．2】 | 2．3<br>【0．4】 |
| | 肯定的な捉えが７４．１%と前回の８３．５%から大きくマイナスとなった。児童は９４．５%と前回の９１．２%からプラスされ高い数値であった。最近では、「あいさつの元気さが戻ってきましたね。」というお声もいただく。我々大人である教師から気持のよいあいさつの範となるように心がけていきたい。 | | | | |
| 4 | お子さんは、自分からお手伝いをしている。 | 16．7 | 46．6 | 35．1 | 1．6 |
| | 肯定的な捉えが６３．３%と前回の７３．３%から大きくマイナスとなった。コロナ禍の中での家庭生活に変化が見られたと推察している。発達段階に応じた「家族の一員としての役割」を与えていただきながら、今後も委員会や係、当番活動などを通して、個々の自己有用感や自己肯定感等を高めていきたい。 | | | | |
| 5 | お子さんは、友達と助け合い、自然や生き物を大切にしている。 | 78．6<br>【77．2】 | 16．5<br>【19．2】 | 2．6<br>【3．3】 | 2．3<br>【0．3】 |
| | 肯定的な捉えが９５．１%と前回の９６．６%からわずかにマイナスとなったが高い数値であった。児童も９６．４%と前回の９６．４%と同じで高い数値であった。今後も友達と共に生活する喜びを実感でき、毎日が楽しく、また明日も登校したくなる学校づくりを皆様と協働して作り上げていきたい。 | | | | |
| 6 | お子さんは、毎日元気に登校している。 | 70．7 | 24．7 | 3．5 | 1．1 |
| | 肯定的な捉えが９５．４%で前回も９７．５%と高い数値であった。今後も誰もが笑顔で登校できるように、より一人一人に応じた取り組みを実践していきたい。 | | | | |
| 7 | お子さんは、食べ物の好き嫌いが少なく、健康に気を付けて生活している。 | 55．9<br>【55．7】 | 36．5<br>【29、3】 | 4．5<br>【11．7】 | 3．1<br>【3．3】 |
| | 肯定的な捉えが９２．４%と前回の８６．４%からプラスとなった。児童も前回と同じ８５．０%と高い数値であった。学校においても養護教諭や栄養教諭等の授業も取り入れ、健康教育をさらに充実させ、コロナにも負けない体と心を育てていけるように努めていきたい。 | | | | |
| 8 | お子さんは、登下校の歩き方や自転車の乗り方、ヘルメットの着用など安全に気を付けている。 | 77．4<br>【51．8】 | 12．8<br>【38、4】 | 7．5<br>【8．5】 | 2．3<br>【1．3】 |
| | 命に関わる設問である。肯定的な捉えが保護者・児童共に前回同様９０%超と高い数値であった。しかし、児童の約１０%が危険と認識していることから、ご家庭と連携して更なる安全教育を推進していく。 | | | | |
| 9 | 学校だよりやホームページに目を通している。 | 51．7 | 37．9 | 9．2 | 1．2 |
| | 肯定的な捉えが８９．６%と前回の９４．５%からマイナスとなったが、高い数値であった。マチコミメール等も活用し、児童の様子や学校の取組がより正確に伝わるようにできる限り努めていきたい。 | | | | |

※児童の回答は、児童用アンケートより、同じような質問の内容への回答結果です。

＜考　察＞

全体的に保護者の評価がマイナスとなり、児童の評価がプラス若しくは同様となった。また、保護者と児童の評価の値に大きな差があることも特徴である。平素から児童と共に実践している西小スタイルの学校生活をより広く知っていただく工夫をしていきたい。

教育は学校だけでは成り立ちません。家庭や地域で学ぶことも多々あります。学校と家庭、地域が連携及び協働して、子どもたちの健やかな成長を図っていけるように、今後とも建設的なご意見を宜しくお願いいたします。学校と家庭、地域がつながり合うことが子どもの笑顔を守ると信じています。